

名称等	中高校生版画ワークショップ開催(山口源顕彰事業)
実施日	令和2年9月19日(土)(リモート指導/回転木版画)
会場	加藤学園暁秀高等学校・中学校 沼津市岡宮字中見代1361-1 電話 055-924-1900
担当	教育委員会事務局文化振興課 直通 055-934-4812 内線 2792

1 内容

① 概要

本市にゆかりのある版画家 山口源を顕彰する山口源顕彰事業の一環として、「山口源新人賞」の受賞経験者を講師とし、中学生・高校生を対象とした版画ワークショップを暁秀高等学校・中学校で開催します。zoom を利用したリモート指導を取り入れ、回転木版画という変わった特徴のある技法に、取り組みます。

② 日程

開催日 令和2年9月19日(土) 技法/回転木版画 講師/中村 美穂(なかむら みほ)
時間 13:00~16:00(予定)
会場 加藤学園暁秀高等学校・中学校
参加者 加藤学園暁秀高等学校・中学校
美術部、他、受講希望生徒

③ 説明(事業のねらいなど)

版画家 山口源の顕彰事業として、山口源賞の授与のほか、版画芸術の普及を目指して版画ワークショップを行っています。令和2年度は、4シリーズの版画ワークショップを行う予定で、高校2校(県立沼津西高[実施済み]、暁秀高校)のほか、公募によるワークショップと、気軽に体験できるプチワークショップを実施する予定です(公募回は9/26(土)、プチワークショップは11月以降に実施予定。※それぞれの内容は、今後お知らせします)。

本ワークショップのねらいは、若い世代に様々な版画技法を体験する機会を提供することで、版画の楽しさや表現の幅広さを知ってもらい、版画制作や鑑賞に対する興味を喚起し、沼津市における版画芸術の裾野を広げ、ひいては本市ゆかりの偉大な版画家である山口源の顕彰に結び付けようというものです。

また、講師には、これまでの山口源新人賞の受賞者を迎えることで、その知識や経験を、本市で芸術に興味を持つ若い世代に伝えてもらうことも目的としています。

2 講師について

中村 美穂（なかむら みほ）【木版画】版画家
平成 26 年度 第 32 回 山口源新人賞受賞
2015 年 女子美術大学大学院 美術研究科 美術専攻版画研究領域 修了
2018 年～ 女子美術大学美術教育専攻 講師
2020 年～ 武蔵野美術大学版画専攻 講師
日本版画協会準会員

【参考】

○山口源新人賞について

「山口源新人賞」は、日本版画協会主催の版画展の出品作品から将来性の認められる作品に対して毎年授与しています。

「山口源新人賞」は新人版画家にとっての登竜門としての地位を確立しており、受賞者は作家として国内はもとより海外でも活躍している方、大学教授として後進の指導に当たっている方など、その多くが美術界で活躍しています。

○「山口源」について

1896 年生まれ。本名は山口源吾。

1944 年に沼津市江浦に疎開、以来亡くなるまで江浦で制作活動が続ける。

戦後は日本の抽象木版画の先駆者の一人として活躍し、1958 年スイス・ルガノ国際版画ビエンナーレで「能役者」が日本人初のグランプリを受賞。

沼津市民文化センター小ホール緞帳には「能役者」の絵柄が使われています。



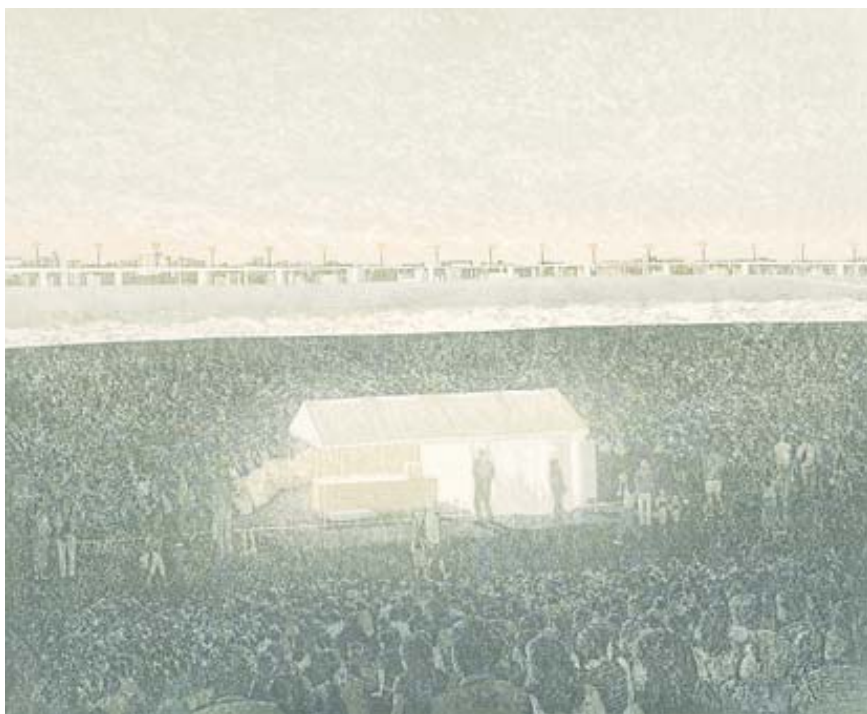
参考画像：令和元年度実施、シルクスクリーンワークショップ（暁秀中・高等学校）

山口源賞について

昭和 58 年の沼津市制 60 周年を契機として、山口源の偉業を顕彰するとともに、市民の芸術文化の向上、発展に資するため、国内版画界において優れた業績を挙げた作家及び将来有望な作家の作品に対して「山口源賞」を制定し、授与しています。

「山口源賞」は「大賞」と「新人賞」からなり、「大賞」は賞の授与に相応しいと判断された国内の優れた作家（作品）に対して授与し、平成 27 年度までに 17 名に授与されました。

「新人賞」は一般社団法人 日本版画協会に選考を依頼し、同協会主催の版画展への出品作品から、将来性の認められる 1 作品（平成 3 年度から平成 28 年度までは 2 作品）に対して毎年授与しており、令和元年度までに 62 名・63 作品に授与しています。



平成 26 年度
山口源新人賞受賞
「ある晴れた日の夜」
中村 美穂
水性木版
90×110cm